

子どもの遊びと親のかかわり

小岩井 きし子
Kishiko KOIWAI

第1章 はじめに

最近、子どもたちが変わってきたとよく耳にする。松本短大の学生をみても、人との関わり方が非常に希薄になっていると感じる。他人は他人、自分は自分という考え方である。本当の友達なら、悪いことは注意すればいいのに、「そんなことは言えない、言えれば友達をなくす」と言う。私は、「保育内容表現A」の授業で、子どもの遊び（集団あそび）を演習のテーマの1つに取り上げている。昔にくらべ子どもたちが外であまり遊ばなくなったといわれる^{〔注1〕}が、子どもたちの変化は幼児期の遊びに関係があるのではないかというのが、私の考えである。今では近所の保育園児や小学校低学年児が、友だちと一緒に鬼ごっこなどで遊んでいる姿は殆ど見る事がない。時々、にぎやかな声は耳にするが、ボールを使った遊びや、砂場などでの遊びのようだ。私は子どもにとって、外遊び、集団遊び、伝承遊びが大切だと考えている。

群馬大学教育学部教授の萩原元昭氏らは、幼児の近所遊びに関する基礎調査を昭和61年から62年にかけて行っている。^{〔注2〕}この調査項目を参考にして

- 1、親と子の子どもの頃の遊びの違い
- 2、子どもが遊んでいる時の親の関わり方

を調査するために調査用紙を作成した。調査は松本市のある私立保育園の土曜参観の日に講演する機会を得た折、聴講していただいた父母の方に調査用紙を配って実施した。その調査結果を基に、今の子どもたちの遊びと親の関わり方について考えてみたい。

第2章 目的および調査と結果

第1節 調査

1、調査目的

- ① 今の子どもたちの遊びの現状
- ② その遊びに親がどう関わっているか
- ③ 親の子どもの頃の遊びはどうだったか

2、調査方法

保育園の講演会の折に予め用意した調査用紙にその保育園の父母の方に記入して頂いた

3、調査対象の保育園の環境

松本市の農村地帯にあり、アパートも団地も多い、私立の保育園

4、調査日

平成8年6月8日(土)、外遊びの調査対象となる前日6月7日(金)は晴れ

第2節 調査対象者状況

1、父母の年代・性別

年代	人数
20代	8人
30代	16人
40代	2人
無回答	3人

性別	人数
父親	8人
母親	19人
無回答	2人

2、子どもの性別

男児16人、女児12人、無回答1人

3、育児状況

家にいて家事をしている7人、

子どもが保育園にいる間働いている9人、

延長保育または夜勤の仕事がある7人

無回答6人(主に母親としたので父親の回答がえられなかった)

4、住まい

1戸建13人、

アパート・団地・マンション16人

第3節 結果及び考察

1、外遊びについて

昨日保育園から帰宅して外で遊んだかどうか?

遊んだ66% 遊ばない34%

遊ばない理由

帰宅時間が遅いが60%で、残りの40%は通院、出かける用事があった、病気で休んだ等。そして帰宅時間が遅いの60%のうち、71%は延長保育をしていると回答している。

2、家の外でどんな遊びをしたか？（複数回答可）

- 1位 自転車・三輪車乗り（62%）
 - 2位 鉄棒・ブランコ・滑り台等（24%）
 - 2位 砂遊び（24%）
 - 4位 ボール遊び（21%）
 - 5位 ままごとやお母さんごっこ等の遊び（10%）
 - 5位 鬼ごっこ・怪獣ごっこ・かけっこ等（10%）
 - 7位 魚釣り・虫とり（3%）
- 縄とび、ゴムとび、石けり、かんけり等とその他の遊びは0%

3、2の間での遊びは誰と遊んだか？

- 1位 同じ保育園の友達だけ（22%）
- 1位 お父さんお母さん（22%）
- 3位 兄弟と友達（18%）
- 4位 近所のいろんな友達（9%）
- 4位 兄弟と親（9%）
- 6位 兄弟（5%）
- 6位 兄弟と友達と親（5%）
- 6位 兄弟と近所のいろんな友達（5%）

外で遊んだと回答した人が誰とどんな遊びをしたかをみると、複数回答可であったが、1位の同じ保育園の友達だけと回答した人は、全員が1つの遊びの項目に丸印をつけている。その遊びは自転車・三輪車であり80%。この遊びの男女別をみると男児全員と女児の半分にあたり、この保育園の子どもたちのこの時期に自転車・三輪車のりが流行っていたと思われる。残り20%は女児で鉄棒・ブランコ・滑り台などであった。また、同じ1位のお父さんお母さんと遊んだでも、80%は自転車三輪車だが、その遊びだけではなく、鉄棒・ブランコ・滑り台や鬼ごっこ・怪獣ごっこ・かくれんぼ・かけっこ等やままごと・お母さんごっこ等のごっこあそびそして砂遊びにも丸印があった。兄弟が一緒に回答した人の遊びは自転車・三輪車が89%と多いが、ボール遊びをしたと回答した100%が兄弟と一緒に遊んでいる。近所のいろんな子ども達と一緒にの遊びは、鉄棒・ブランコ・滑り台やままごと等のごっこ遊び・砂遊びで、自転車・三輪車のりがなかったことは、おもしろい結果だ。

4、きのう保育園から帰って、家の中で遊びましたか？

かぜをひいていた一人を除いて全員遊んだと回答している。

5、家の中でどんな遊びをしましたか？（複数回答可）

- 1位 テレビを見る 68%
 2位 人形やおもちゃで遊ぶ 46%
 3位 マンガや絵をかく 39%
 4位 マンガや本を読む 32%
 5位 プラモデルを作ったりブロックなどで遊ぶ 21%
 6位 ままごとなどのごっこ遊びをする 14%
 7位 ファミコンやテレビゲームなどをする 10%
 8位 粘土遊びをする 7%
 ピアノやオルガンなどの楽器を弾く・ゲーム パズル・カルタなどをするは0%

6、その遊びを誰としましたか？

- 1位 兄弟 50%
 2位 お父さん・お母さん 32%
 3位 自分一人 25%
 4位 兄弟と友達 7%
 5位 その他（祖母も含めた家族）4%

家の中の遊びでは、ファミコンやテレビゲームをもっと友達とやっているのかと思っていたが、季節が外遊びに良い時期だった為か、年齢が低い為か、この結果は、予想外であった。

1位のテレビを見るに丸印のある子どもはそれ以外の遊びにも複数丸印があったが、ファミコンやテレビゲームに丸印をつけた67%はテレビを見るとファミコンやテレビゲームだけに丸印があった。

7、あなたが子どもの時に比べて、「近所遊び」はどのような点で変わってきたと思われますか？

1) あなたが子どもの頃によく遊んだ場所、今の子どもがよく遊んでいる場所は？

位	今の子ども	昔の子ども
1位	公園や遊園地など 100%	空き地・河原・土手・野原 79%
2位	自分の家の庭 54%	自分の家の庭 64%
3位	道路・路地 38%	友達の家の庭 61%
4位	友達の家の庭 36%	学校などの運動場 39%

5 位	学校などの運動場 21%	道路・路地 36%
6 位	駐車場など 29%	公園や遊園地など 29%
7 位	商店街やマーケットなど 14%	駐車場など 14%
8 位	空き地・河原・土手・野原など 4%	商店街やマーケットなど 7%
8 位	その他 0%	その他 7%

今の子どもは公園や遊園地で遊び、空き地で遊ぶ子どもはほとんどいない。逆に昔の子ども（両親）は、空き地が1位で、公園や遊園地で遊ぶのは、6位。昔のこどもの空き地で遊ばなかった21%のうち、25歳までの人は83%・35歳までの人は17%。20代で空き地で遊んだ人は、全体の14%。逆に、空き地で遊ばなくて公園で遊んだ人は67%。25歳までの人は100%。その数字から、年齢が高くなるにつれ、空き地で遊んだ経験のある人が多くなっていることがはっきり分かる。

2) あなたが子どもの頃によく遊んでいた相手、今の子どもがよく遊ぶ相手は？（複数回答可）

位	今の子ども	昔の子ども
1 位	同年齢の子どもと 79%	異年齢の子どもと 72%
2 位	少人数（4人まで） 76%	多人数（5人以上） 66%
3 位	同姓の子どもと 59%	同姓の子どもと 62%
4 位	異性の子どもと 34%	同年齢の子どもと 52%
5 位	異年齢の子どもと 21%	異性の子どもと 52%
6 位	多人数（5人以上） 3%	少人数（4人まで） 31%

今の子どもは、同年齢の子どもと少人数で遊んでいる。そして、多人数で遊ぶということが極端に少なく、異年齢も少ない。昔の子どもは、異年齢でしかも多人数で遊んでいた。そして、昔の子どもの方が全体の％からみても多くの人がいいろいろな人と幅広く遊んでいたとみる。昔の子どもで少人数で遊んだと回答があったうち、多人数でも遊んだと回答している人は44％あり、少人数でも遊び、又、多人数でも遊んだとみる。そして、少人数で遊んだ残りの46％のうち11％が父親で、後は母親。母親の方が少人数で遊んでいたとみる。多人数で遊んだと回答した父親は父親全体の88％。

3) あなたが子どもの頃によくした遊び、今の子どもがよく遊んでいる遊び？

位	今の子ども	昔の子
1位	テレビを見る 83％	鬼ごっこ・かくれんぼ等 90％
2位	自転車・三輪車に乗って遊ぶ 79％	縄跳び・ゴムとび・石蹴り等 76％
3位	鉄棒・ブランコ・滑り台 61％	ままごと等のごっこ遊びをする 76％
4位	人形やおもちゃで遊ぶ 61％	砂遊びをする 72％
5位	砂遊びをする 59％	魚とり・虫とりなどで遊ぶ 69％
6位	ままごと等のごっこ遊びをする 52％	自転車・三輪車に乗って遊ぶ 66％
7位	マンガ・本を読む 48％	鉄棒・ブランコ・滑り台等 52％
8位	プラモデル作り・ブロック 41％	マンガや本を読む 45％
9位	ファミコンやテレビゲーム 41％	人形やおもちゃで遊ぶ 45％
10位	マンガ・絵をかく 41％	ボール遊びをする 41％
11位	粘土遊びをする 34％	ゲーム・パズル・カルタ等 34％

12位	ボール遊びをする 24%	テレビを見る 24%
13位	鬼ごっこ・かくれんぼ・など 21%	マンガ・絵をかく 21%
14位	ピアノ等の楽器を弾く 21%	粘土遊びをする 17%
15位	魚とり・虫とりなどで遊ぶ 17%	プラモデル作り・ブロック等 0
16位	ゲーム・パズル・カルタ等 17%	ピアノ等の楽器を弾く 0
17位	縄跳び・ゴムとび・石蹴り等 0	ファミコン 0

上の結果からみて、今の子どもと昔の子どもでは遊びが変わってきていることが分かる。今の子どもは、一人でも遊べる遊びが5位までをしめ、そして、テレビ、プラモデル、ファミコンなどが上位にあり、鬼ごっこ、魚とり、縄とびなどが下位となっている。2)の結果と合わせてみると、鬼ごっこや縄跳び・ゴムとび・石蹴り・かんけり等の遊びを昔の子どもたちは、いろいろな人と一緒に大勢で遊んでいたと思われる。

8、お子さんが近所遊びを行っているとき、あなたはどのようにしていますか？

親の関与	そうすることが多い	どちらともいえない	そうしない事が多い
親のいない所関与ナシ	28%	31%	31%
遠くからみている	25%	42%	31%
近くでみている	33%	29%	38%
近くで言葉で指示	21%	33%	46%
子どもの遊びに参加	24%	44%	32%
子どもの遊びリード	4%	29%	67%

問1、親のいないところで遊んでいることが多いので関与しない。

父親……そうはいえないに山

30代の母親……どちらともいえないに山

20代の母親……そうしないことが多いに山

問2、遠くから離れてみている

父親……どちらともいえないに山

30代の母親……そうしないことが多いに山

20代の母親……どちらともいえない、そうしないことが多いに分かれる

問3、近くでみている

父親……そうしないことが多いに山

30代母親……そうしないことが多いに山があるがそうすることが多いも多い

20代母親……そうすることが多いに山があるがどちらともいえないも多い

問4、近くでみていて、言葉で指示する

父親……どちらともいえないとそうしないことが多いが同数

30代母親……そうしないことが多いに山で、そうすることが多いとどちらともいえないが
同数

20代母親……どちらともいえないに山で、そうすることが多いのほうが少しそうしないこ
とが多いより多い

問5、子どもの遊びに加わる

父親……どちらともいえないに山、そうすることが多いはゼロ

30代母親……どちらともいえないに山

20代母親……そうすることがおおいに山

問6、子どもの遊びをリードする

父親・30代母親……そうしないことが多いに山

20代母親……どちらともいえないに山

遊びの時の親の関わり方を表よりみると、「親のいない所で遊んでいることが多いので関与しない」、「遠くから離れて見ている」はあまり放っておくことはしない。「近くでみている」、「近くで見ていて言葉で指示する」、「子どもの遊びに加わる」、「子どもの遊びをリードする」では、逆に子どもの自由にさせている。父親の遊びの時の関わりをみると、あまり関与せず、意識して遠くから見ることもなく、言葉で指示せず、遊びに時には加わるが、子どもの遊びをリードすることはない。

30代の母親は、親のいないところでの遊びは放っておくことはしなく、離れて見ていることはしない。後は父親と似た関わり方をしている。

20代の母親は、親のいないところと、遠くから見ているのは30代の母親と似た関わり方だ

が、近くで見ているし、言葉での指示もあり、子どもの遊びに加わり、子どもの遊びをリードすることもある。

9、いつもお子さんが遊んでいる時、あなたはどのようにしていますか？

1) 設問項目

問1、子どもが友達に乱暴なことをしたら、厳しく注意する

問2、子どもが一人で遊ぶより、他の友達と遊ぶように気をつけている

問3、子どもが作った物、書いた物はなるべくほめるようにしている

問4、子どもがけんかしても、あまり注意しないようにしている

問5、子どもが誰と遊ぶかは、親が指導している

問6、子どもが危ない遊びをしたら、厳しく注意している

問7、子どもを連れて、近くの公園などでよく遊ぶようにしている

問8、子どもが友達と遊ぶよりは、知的活動をするように励ましている

問9、子どもが遊びの中で、うまくできないことがあるとすぐに手助けをするようにしている

問10、子どもが一人で遠くへいかないようにしている

問11、子どもが一人で遊んでいるときはなるべくほっておくようにしている

問12、やってよい遊び、悪い遊びの区別を教えるようにしている

2) 結果(1) 設問項目別対応比率

対応 問	ア (いつもする)	イ (たいていする)	ウ (どちらとも?)	エ (あまりしない)	オ (そうはしない)
問1	48%	48%	4%	0	0
問2	11%	48%	37%	4%	0
問3	52%	41%	7%	0	0
問4	3%	24%	34%	17%	21%
問5	0	0	17%	24%	59%
問6	50%	50%	0	0	0

問 7	3 %	38%	21%	31%	7 %
問 8	0	8 %	8 %	34%	50%
問 9	0	10%	28%	34%	28%
問10	52%	17%	24%	3 %	3 %
問11	4 %	32%	46%	4 %	0
問12	24%	52%	17%	7 %	0

3) 結果(2) 父母別、年代別対応

問 1、子どもが友達に乱暴なことをしたら、厳しく注意する。

母親は20代・30代ともアのいつも注意するが多いが、父親はイのたいていそうするが多い。

問 2、子どもが一人で遊ぶより、他の友達と遊ぶように気をつけている。

全体にイのたいていそうするだが、20代の母親が、アのいつもそうするに多い。

問 3、子どもが作った物、書いた物はなるべくほめるようにしている。

母親がアのいつもそうする、イのたいていそうするに回答して、ウの7%は父親の回答。

問 4、子どもがけんかしても、あまり注意しないようにしている。

20代の母親の回答はア～オのいつもそうするからそうはしないにばらついているが30代母親はイとウのたいていそうするとどちらともいえないに山。父親はウとエのどちらともいえないとあまりそうはしないに山がある。

問 5、子どもが誰と遊ぶかは、親が指導している。

オのそうはしないに全体の山がある

問 6、子どもが危ない遊びをしたら、厳しく注意している。

アとイのいつもそうするとたいてい、そうするに回答している

問 7、子どもを連れて、近くの公園などでよく遊ぶようにしている。

父親はイのたいていそうするに山がある。

20代の母親はオのそうはしないが無く、後はバラついているが、30代の母親では、アのいつもそうするが無く、エのあまりそうはしないに山がある。

問 8、子どもが友達と遊ぶよりは、知的活動をするように励ましている。

母親はオのそうはしないに山があるが、父親はエのあまりそうはしないに山があり、30代

の母親はアとイのいつもそうする、たいていそうするのは無い。

問9、子どもが遊びの中で、うまくできないことがあるとすぐに手助けをするようにしている。

30代の母親はウのどちらともいえないに山があり、20代ではエのあまりそうはしないに山があり、父親はオのそうはしないに山がある。

問10、子どもが一人で遠へいかにようにしている。

父親はウのどちらともいえないに山があり、母親はアのいつもそうするに山がある。

問11、子どもが一人で遊んでいる時は、なるべくほうっておくようにしている。

父親はイとウのたいていそうするとどちらともいえないに山があり、ア～エに広がっているが、母親はウのどちらともいえないに山があり、ア～ウのみでエ・オは無い。

問12、やってよい遊び、悪い遊びの区別を教えるようにしている。

父親はイのたいていそうするに山があるがア～イに広がっている。30代母親はイのたいていそうするに山でア・ウが同数。20代母親はアとイのいつもそうするとたいていそうするが同数でエとオには無い。

子どもの遊びへの配慮では、子どもが危ない遊びをしたら厳しく注意している、「いつも」+「たいてい」で100%。子どもが友達に乱暴なことをしたら厳しく注意するが、「いつもそうする」+「たいていそうする」が96%で、子どもが作ったもの書いたものはなるべくほめるようにしているが、「いつも」+「たいてい」で93%と続き、子どもが誰と遊ぶかは親が指導しているは、「あまりそうはしない」+「そうはしない」が83%となっている。

遊んでいるときの親の配慮では、やってよい遊び、悪い遊びの区別を教えるようにしているの、「いつも」+「たいてい」が76%。子どもが遠くへいかにようにしているの「いつも」+「たいてい」が69%。子どもたちが友達と遊ぶよりは知的活動をするように励ましているが「あまりそうはしない」+「そうはしない」84%。子どもが遊びの中で、うまくできないことがあるとすぐに手助けをするようにしているは、「あまりそうはしない」+「そうはしない」は62%。母親が乱暴したら厳しく注意し、子どもの作品をほめているが、公園などに行くのは父親が主。遊んでいるときの親の態度は、子どもが一人で遠くへいかにようにしているは母親はいつもそうするが多いのに、父親はどちらともいえないが多く、遊びへの配慮共に父親が、消極的に子どもに接しているように思う。

10、あなたは次の遊びをしたことがありますか？又、お子さんは遊んだことがありますか？

(次頁 表参照)

この伝承遊びで今の子どもは、昔の子どもの10位のあずきあずきをやったことがあるが31%で、今の子どもの1位のかごめかごめをやったことのあるの34%と全体から比べてみても、この表の遊びをやったことのある%はずっと低い。そして、表のように今の子どもは、遊んだことがあるもの5コ以下が83%で昔の子でもでは、5コ以上が93%と逆の数字がでている。

1) 今の子どもの遊び

位	遊び	今の子ども
1	かごめかごめ	34%
2	ずいずいずっころばし	28%
2	郵便やさんの落し物	28%
2	ケンパ	28%
5	おちゃらか	24%
5	ゴムとび	24%
7	花いちもんめ	21%
7	あずきあずき	21%
9	通りゃんせ	10%
10	あんたがたどこさ	7%

2) 昔の子どもの遊び

位	遊び	昔の子ども
1	かごめかごめ	90%
1	花いちもんめ	90%
3	ずいずいずっころばし	86%
4	通りゃんせ	83%
5	あんたがたどこさ	76%
6	郵便やさんの落し物	72%
6	ゴムとび	72%
8	ケンパ	69%
9	おちゃらか	62%
10	あずきあずき	31%

3) 比較

遊んだことのある遊び	今の子ども	昔の子ども
10コ以上遊んだ	3%	21%
8コ以上遊んだ	0	36%
5コ以上遊んだ	14%	36%
5コ以下	54%	7%
0コ	29%	0

第3章 まとめ

「昨日帰宅してから家の外で遊びましたか」の設問に対し、外で遊んでいる子どもは70%近くいた。しかし、昔にくらべて内容には大きな違いがある。

- 1、今の子どもの遊びの上位は自転車のりなど一人でも遊べる遊びで、昔の子どものトップは、鬼ごっこなど大勢で遊ぶあそびである。

2、遊び場も昔の子どもが空き地で遊んだのに対し、公園で遊んでいる。

3、伝承遊びは、今の子どもはほとんどやっていない。

子どもの外遊びでの親の関わり方は、昔に比べ直接的で親と遊ぶことが増えている。しかし、公園などに連れて行くのは父親だが、子育てに積極的な父親の姿はみられない。以上のように、今の子どもの遊びは大きく変わってきている。今回は保育園児対象のアンケートだったが、小学生になればもっと塾通いやおけいこごとが増え、友達との外遊びが減り、テレビゲーム・ファミコンなどが増えるのではないかと予想される。少し古い資料だが、全国教育研究所連盟が昭和42年に実施した「現代の子ども……その生活と意識」^{〔註3〕}によると、

小学校5年男子35%、女子58%が放課後友人と遊ぶのが週に1～2回かほとんどないと答えている。その大半が、この程度の遊びで「じゅうぶん」「まあ、じゅうぶん」と答えている。かりに子どもが「遊びとはこんなもの」と考えているとしたら、大きな問題がある。そして、余暇の内容では、テレビ視聴がほぼ3時間となり、それでもなお、「ラジオをもう少し聞きたい」「テレビをもう少しみたい」「雑誌を読みたい」とする子どもの訴えが多い現象は、本来のこどものもつ「外で遊びたいもの」「おなかがすくくらいあそびまわりたいもの」とする積極的な余暇活動ではなく「まるでのんびりすごしたいと言っている疲れた大人のような答え」をもつ子どもが多いのは驚くべき、悲しむべき現象である。勉強に拘束を感じ、緊張に疲れ、とくに、活動意欲がそれ、もっぱら休息という形で余暇活動がなされるとしたら、ゆゆしき問題である。

とある。この傾向は増々顕著になっているであろう。小学生に遊ぶ機会がないなら、幼児期に大いに遊ばせることがいよいよ大切である。子どものころにした遊びと題した最近の松本短大生のレポートで「花いちもんめ」は仲間はずしの遊びで嫌な思い出があると書いている人が何人かある。この遊びは二チームに分かれジャンケンに勝ったチームが他のチームから一人もらえるという遊びだ。この最後に残るのが嫌な思い出とつながっている。私の子どもの頃は、年齢差のあるグループでこのような伝承遊びを行った。そこには、リーダーが必ずいて、小さな子どもをかばい、嫌なことは、結構リーダーが引き受けたりして、皆が楽しいと思えるように遊んだ。そこで、年下の者は遊びとはどういうものかを自然に学び、自分も年上になって年下の子どもと遊ぶ時は気を使って、皆が楽しいと思える様に工夫して遊んだ。

今の子どもは、同年令でしかも少人数で遊んでいる。いじめも社会問題となっているが、対人関係の訓練として、異年齢の子どもが多人数で遊びを遊びとして十分遊ぶ機会を作る必要がある。よくいじめの話で、昔もいじめがあったが、かばう人もいたし、手をだす程度も分かっていたという。同年令で少人数で、しかも、何かあるとすぐ親が口出しするような遊びでは、人を思いやる余裕は余り生まれないのではないかな。

伝承遊びを知らない子どもが増えている。これは、遊びを教える人のいない、同年齢、少人数で遊んでいるからだと思う。伝承遊びを教えるのが、保育園、幼稚園にならざるをえな

い今の状況から、保育園、幼稚園で是非、伝承遊びをカリキュラムに取入れ欲しい。大勢で遊ぶことにより、それぞれの子どもが学ぶことは大きいと思う。外遊びをしなかった子どもの中の理由に、延長保育で帰宅時間が遅く遊べなかったと書いている人が71%ある。延長保育の子どもたちは、保育園のクラスをなくしたいろいろな年齢のこどもたちの集団である。いろいろ工夫して延長保育をおこなっていると思うが、異年齢で遊べる機会を上手に活用して欲しい。又、幼稚園の送迎バスを待つ間の一時間位を子ども達を1つの部屋に集め、ビデオを見せているという話を聞いたことがある。管理の上では楽かもしれないが、地区別にバスを待つ子どもたちも、異年齢だ。異年齢で遊ぶ、とても良い時間だと思うので、たくさん遊ばせて欲しいと思う。

昔の子どもの遊び場のトップが空き地の様に、松本も15年位前まではあまり公園など整備されていなかった。中央道が開通し、田畑の構造改善が行われ、各地に公園などができた。今回のアンケートでも、今の子どもの遊び場のトップは公園となった。これは団地があるためかもしれない。一戸建ての多い、昔からそれ程新しい家の増えていない地区の公園は、乳児位の親子の遊び場と、老人のゲートボール場だ。乳児の頃、親と公園で遊んでいる子どもは、友達と公園で遊ぶ様になると思うが、今の幼児や小学生の遊び場は家庭、児童センターになっているのではないかと公園などが近くなかった頃のこういう地区には、ブランコや砂場のある家庭が多かった。公園が整備されれば家庭でそれらを用意する必要もないし、公園でいろいろな人と遊ぶことができる。それには、公園にどんな遊具を置くかも大事なことでと思う。公園に魅力がなくてはなかなか公園にはいかないかもしれない。もっともっと子ども達が大勢で遊ぶことができる公園になって欲しいと思う。

このアンケート結果で、子どもに接する父親の態度が消極的であるが、もっと父親も子どもに関わりをもって欲しいと思う。社会規範を教えるのが母親で、おっかない母親と優しい父親ではいけないと思う。悪いことは悪いと言えるには、日頃から、いろいろな体験を共有し、信頼関係にあることだと思う。

どんな人になって欲しいかと遠くに目標を置き、子どものころにしかできない遊びを十分味わってほしい。そのためにも、親は子どもの遊び相手とか遊びの内容にあまり口出しせず、暖かく見守ってやり、子ども自身が感じ、分かり、いろいろなことを経験していくことが大切だと思う。

参考文献

- 注1、長野県につたわるこどものあそび 竹之下休蔵 監修 光文書院 P 9
注2、幼児の近所遊びに関する基礎調査 萩原元昭 編者 多賀出版
注3、子どもの遊び その指導理論 小林芳文著 光生館 P17